

# 牛久：学校周辺に見る自然

第9号 ひたち野うしく小学校

2018年5月20日発行

## く 春のみずべ公園で生きもの観察 ～⑤花に来る虫たち・その他～

ひたち野うしく小4年生と歩いたみずべ公園、今回はノイバラ、ヘビイチゴ、カタバミ、ギシギシに来た虫たち。



ノイバラの蜜をすってまわるクマバチ(左)と、花粉をなめるシマアシブトハナアブのめす(右)。

「茨城の花」はバラですが、中でも広く自生しているのはこのノイバラでしょうか。池のふちなので近くには行けませんが、写真を大きくしてみました。クマバチやマルハナバチ、ミツバチがたくさん来ていました。花粉をなめるシマアシブトハナアブなどのハナアブ類もいました。



ヘビイチゴ(左)と、その蜜を吸うハチ(右)。

同じバラ科の仲間、ヘビイチゴもたくさん見られました。もう花はほぼ終わりで、赤い実がたくさんできていましたね。残った花には、小さなハチが来て蜜を吸っていました。



ギシギシの葉を食べるコガタリハムシ(左)、茎の汁を吸うアブラムシに集まるアリとナナホシテントウ(右)。

最後に、カタバミの蜜を吸っていたヤマトシジミ。幼虫はこの葉を食べて育ちます。そしてギシギシ。葉を食べるコガタリハムシなど、いろいろな虫が集まっていたね。

【理科支援員：宮内】

カタバミ(左)と、その蜜を吸うヤマトシジミ(右)。